

# センター長だより

## 令和6年1月1日の能登半島地震に学ぶこと

### — 防災、減災から備災へ —

大塚地区交流センター  
センター長 加藤秀樹  
(社会福祉士、防災士)

#### はじめに

今年の1月1日午後4時10分、能登半島先端付近を震源として最大震度7の地震がありました。川西町でも比較的強い震度4の揺れでした。地震の原因は逆断層であると報じられています。被災された皆さんにはお見舞を、亡くなられた方・ご家族へはお悔やみ申し上げます。

昨年12月のセンター長だよりで、置賜盆地の西縁に活断層があり、これが原因の地震が起こった場合震度7の可能性を紹介しました。場所は異なるにしても期せずして起こった活断層を原因とする大地震が能登半島で起こり、その偶然に驚いています。

さて、ニュースでは度々被災された皆さんの被災直後の鎮痛な声が聞かれます。ニュースの中で被災された輪島の人たちの声は、私たちが今すぐにも備えておきたい項目ですので、ここにまとめてみました。現在、自主防災部会では避難所マニュアルを作成しているところですが、以下に紹介する内容は、地震、水害に共通する注意事項ですので、気に留めていただくことが大切だと思います。

被災を想定して備える物品としては、食糧(水を含む)、生活用品など、大まかにはこれまで言われてきた通りですが、今日だから揃えておきたい物、揃えなければならない物があります。皆さんが、災害時の救援は国や行政の責任で行われるべきと考えるのは理解できます。しかし、最近の災害に対する考えは、従来の防災、減災から備災へとの考え方が違ってきています。発災時から直後数日については、『自分の身は自分で守る』という考えで備えることが大事だということです。

#### 1. 備えておくの良い物品・持ち出し品について

##### テント

個人的な考えで避難所に入りたくない、プライバシーを確保したいという場合にはテントが良いでしょう。最近のアウトドアブームで、日常生活が可能な機能を持ち、安価(6、7千円～数万円前後)で購入できる様々なタイプのものがあります。入り口に屋根が付いているツールームテント(前室と居住・寝室に分かれている)の場合は、前室で雨を防ぎ煮炊きもできます。野外活動用の薪ストーブ(かまど)とセットにしておくの良いでしょう。余暇を利用してキャンプやバーベキューなどを行い、テントを日常使いして、使い慣れしておくことが大切です。

##### カセットコンロまたは薪ストーブ

どの家庭にもカセット式ガスコンロは1台はあると思いますので、持ち出し品の中に入れておきましょう。ボンベ1本の燃焼時間は3.5kWのコンロの場合全開で約60分と言われています。3食x日数分のガスボンベを用意しておきましょう。アウトドア用の薪ストーブは持ち運びができ、安価(数千円から1万円程度)ですので、テントと一緒に用意しておくことをお勧めします。薪ストーブも枯れ枝や木の葉

などを燃やし、どれくらいの薪でどれくらいの調理ができるか、経験しておくといよいでしょう。

### 簡易トイレ

今回の地震直後のニュースの中で避難先のトイレが混雑したり、水が流れずに匂いがするとか不衛生だとか言った声が聞かれました。避難地では、特に女性にとってはトイレは大問題ではないでしょうか。その一方で、女性が最も苦手とするのがトイレの解決方法でもあるでしょう。個人のみならず避難先の責任者はこの点をしっかり把握して、準備をしておきましょう。

### スマホ用バッテリー

スマホはメーカーが違くと本体とバッテリーの接続部分が異なります。自分専用のバッテリーを持っておくのがよいでしょう。できれば、調達しやすい乾電池が供給源のバッテリーが良いでしょう。通信だけでなく、ラジオやテレビ機能がついている機種もありますので、気に入ったものを購入しましょう。

### 防災用テレビ、ラジオ

災害時には情報収集が大切になります。テレビもラジオもスマホに付いている機種がありますが、電池残量が心配ですので、情報専用の機種を持っておくと良いでしょう。LED 電灯や充電機能がついていて、1万円程度で購入できる機種もあります。

### LED 電灯(照明)

電灯(ランプ)は主に夜間使用することになります。現在は、LED のものが主流となっており、電池の持ちが良いという特徴をもっています。スマホへ充電できるバッテリー機能を持っていたり、手廻し充電、ラジオやワンセグテレビがついているものなど、複合機能を持つものもあります。日常使用をして、機能を確かめておきましょう。

### 乾電池

持ち出し品、備蓄品の中に乾電池を必要とするものがある場合、余分に保存しておきましょう。電池のタイプとしては、マンガン電池より少し高いのですが、電池の持ちが良いアルカリ電池などのタイプが良いでしょう。

## 2. 備蓄物資の保存・保管場所

各家庭の備蓄物資の保管場所について考えてみたいと思います。地震であれ水害であれ、通説では、備品は持ち出しやすいように自宅の玄関付近に置くことになっています。しかし、発災時に必ずしも玄関から外に出る(出られる)とは限りません。その理由は、地震の場合二階建ての家屋は玄関を含め1階が損壊しやすいようですし、水害の場合は1階が浸水する可能性があるからです。家の中の玄関付近は保管場所として必ずしも適さないのです。ではどうしたら良いのでしょうか。戸建ての場合は土地に余裕があれば屋外に物置を設置して、その中に収納するのが良いでしょう。また、集合住宅(アパートやマンション)の場合は、ベランダの隅に簡易型の物置などを用意して収納するのが良いでしょう。

### おわりに

能登半島地震直後のニュースで、「水がない、足りない」、「食べものがない」などの被災者の声が聞かれました。理由はいずれにしても、画面で見える限り、例え備蓄していたとしても到底持ち出すこと

はできなかったでしょうし、備蓄の場所がわかっても倒壊した建物から持ち出すのは困難でしょう。保管の場所をどこにするか、自宅の築後年数、耐震強度などを考慮して決める必要があるでしょう。避難生活と言うと切実感、悲壮感が先立ちます。しかし、考えようでは、被災時の生活を日常生活の延長上に想定し、準備することで被災時の負担を幾らかでも軽減できるのではないかと思います。

## センター長出張、会議出席等

期間：令和6年1月1日～1月31日

月日時間	会議・出張等の名称	場所・会場
1月5日(金)、13時半～15時	7地区センター長会	町役場
同 15時～17時	川西町新春交歓会	同
1月9日(火)、6時半～7時	安全祈願式	高德寺
同	仕事始め	交流センター
1月10日(水)9時～12時	映画鑑賞・うた声喫茶	交流センター
1月13日(土)、10時～10時半	新年会・安全安心集会	交流センター
同 11時～13時	新年会・懇親会	同
1月19日(金)、10時～11時	ゆうゆう大学地区学部・介護予防	交流センター
1月24日(水)、13時半～15時	書道教室	交流センター
1月25日(木)、9時半～10時	筋認体操(とっとり方式体操)	交流センター
同 10時半～11時	第3四半期監査	同
1月30日(火)、8時半～9時半	月例ミーティング	交流センター
1月31日(水)、10時～11時半	まちカフェ	いきがい交流館
その他:15、22、29日開催の百歳体操に参加しました。		

## 募集中！

大塚地区交流センターでは、引き続き以下の募集を行っておりますので奮ってご応募ください。

- ・生涯学習推進員(センタースタッフ)※主にスポーツ大会運営
- ・治平館だより等の編集委員ならびに読者モニター
- ・人材バンク登録(専門的な技術や知識、特技等をお持ちの方)
- ・書道教室の生徒および世話係(準備や後片付け等)



以上については、随時受付をしております。大塚地区交流センターまで申し込み用紙に必要事項を記載し提出してください。電話やメール等で応募していただいても結構です。

## 防災士の資格を取得されました

この度、元消防団第2分団長の須田誠氏が防災士研修を受講され、試験に合格し、防災士の資格を取得されました。今後、大塚地区の防災のリーダーとして活躍されることを願っております。

自主防災部会長 加藤秀樹

## 義援金の報告

1月1日に発生した能登半島地震への義援金については、自治会長の皆様にはお手数をお掛けしましたが、この度全自治会より義援金が集まりました。総額58,100円でした。まずは、地区の皆様のご協力に感謝いたします。後日、しかるべきルートで義援金を能登半島の皆様へお届けします。その際は、改めてご報告いたします。

令和6年2月1日

大塚地区交流センター長 加藤秀樹

大塚地区自治会長会会長 金子正幸